

事務局だより I N F O R M A T I O N

新しい街づくりで
問屋町に個性と魅力を

KIMASSI

Vol.110
January

KANAZAWA

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS 2011年1月 金沢問屋センターニュース
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

年頭挨拶

第3回 (協)金沢問屋センター旗争奪 石川県新人学童野球選手権開催

平成23年の経済見通し

卯年男 大いに語る

バトンエッセー

研修会報告

第7期「金沢商人塾」例会報告

事務局だより

うちのキラリンさん



10月

●4日 理事会

1. 総務委員会より
 - (1) 集団健康診断の実施について
 - (2) 緊急貸出制度について
2. 厚生委員会より
 - (1) 幹部社員研修会の実施について
 - (2) 社員特別研修会の実施について
 - (3) 営業マン研修の開催について
 - (4) リテールサポート研修の実施について
 - (5) 弓取保育園の入園申込みについて
 - (6) 第6回キマシカップ・オープンゴルフについて
 - (7) 第36回商社対抗ソフトボール大会について

3. 組合運営委員会より

- (1) 町内一斉清掃について
- (2) 不燃物有料回収について

4. 事業戦略委員会より

- (1) 問屋町街角アートパークコンペティションについて
- (2) 広報誌第109号の発行について

5. 開発プロジェクトチームより

- (1) 尚和印刷(株)跡の金沢美術工芸大学への貸与について
- (2) 交通安全対策協議会より

7. 青年部より

- (1) 上海視察と公開定例会について

8. 事務局より

- (1) 金沢商人塾 第2回例会の結果報告
- 11日 問屋町街角アートパークコンペティション開催
- 14日 第5回キマシカップ・ボウリング
- 16日、17日 金沢商人塾 第3回例会
- 21日 新入社員フォローアップ研修(2回目)
- 27日 不燃物有料回収

11月

●2日 理事会

1. 総務委員会より
 - (1) 中間決算について
 - (2) (株)ローソンへの賃貸契約について
2. 厚生委員会より
 - (1) 幹部社員研修会の実施について
 - (2) 社員特別研修会の実施について
 - (3) 第5回キマシカップ・ボウリングについて
 - (4) 営業マン研修の開催について

3. 組合運営委員会より

- (1) 会館、防犯灯の修繕について
- (2) 事業戦略委員会より
- (1) 問屋町街角アートパークコンペティションの実施について
- (2) 収益力向上のための事業の検討について

5. 開発プロジェクトチームより

- (1) 尚和印刷(株)跡地の修理について

6. 青年部より

- (1) 10月定例会の報告と11月定例会の開催について

7. 事務局より

- (1) 北陸銀行金沢問屋町支店の竣工と開店について
- (2) 金沢商人塾について
- (3) 石川県新人学童野球選手権の準決勝と決勝戦

について

- (4) (株)丸昌所有不動産の売却について
- (5) 新卒者就職応援企業の募集について
- (6) 中小企業基盤整備機構の経営支援施策の案内

12月

●3日 理事会

1. 総務委員会より
 - (1) 新年祭について
 - (2) 新年互礼会について
 - (3) 緊急融資について
 - (4) 景況調査について
 - (5) 集団健康診断の実施について
 - (6) 建物リニューアル資金貸付について
2. 厚生委員会より
 - (1) 幹部社員研修会について
 - (2) 社員特別研修会の実施について
 - (3) 各研修会の実施について

3. 事業戦略委員会より

- (1) 問屋まちスタジオに関する規約について
- (2) 広報誌第110号の発行について

4. 開発プロジェクトチームより

- (1) 「問屋町の街づくり構想」の報告会について

5. 事務局より

- (1) 金沢商人塾 第4回例会の結果報告と第5回例会について

編集後記

失われた10年といわれていた日本の社会経済。いつの間にかさらに10年経ってしまいましたが、一向に明るい兆しが見えません。我が問屋町においては企業撤退で空き家や空き地も多く、何とか新しい街づくりをやって元気をささなくては!と事業戦略委員会で取り組んできました。その一環として昨年金沢大と連携し街角アートパークコンペを実施したことで少しは世間の目を集めることができたかなと感じています。また今年は新しく「問屋まちスタジオ」を開設することになっていますが、さらに大きな刺激をこの街に与えることと大いに期待しております。若者が魅力を感じる、そんな街を目指して今年も取り組んでいかなくてはと思っています。(E.N)

毎日が充実、今日も頑張ろう!!



大宗株式会社 鍛冶 亜矢子さん
寝具を中心とした商品の受発注等を担当しています。入社して2年が経ったので、つまらないミスでお客様や営業マンに迷惑をかけないよう心がけています。昨年特に印象に残ったのは、担当エリアが増えて東京の店舗を任

せてもらったこと。店舗数が多く細かい対応が必要ですが、やりがいを感じています。

会社の皆に連れて行ってもらい、昨シーズンから始めたスノーボードを早くやりたくてしょうがない!先輩も上司も、皆さんスポーツ好きでいい人ばかり。私生活も仕事も充実していて、毎日頑張ろうと思えます。

うちの

キラリンさん
元問屋町にお勤めの方をご紹介します

娘の“喝”が仕事にも生きています



北村電機産業株式会社 江尻 明欣さん
工作機械や食品加工機械と制御盤等をつなぐ電線を中心に営業を担当。石川県のメーカーが製作する食品加工機械は信頼性が高く、海外でも使われています。私達が表に出ることはありませんが、石川県の得意な産業分野に

携われることをありがたく思っています。

プライベートでの最優先は6歳の娘との時間。昨年、その娘に「約束を破るな!」と怒られました。自分の言葉を相手はどうとらえるかまでを考えて口に出す、そしてその言葉に責任を持つ。約束を守ることの難しさを娘に教えられ、肝に銘じています。

年頭挨拶

自らの力を信じ、自らの努力で新しい飛躍を

協同組合 金沢問屋センター 理事長 富木 昭光

新年あけましておめでとうございます。平成23年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には、清々しい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、地球規模の異常気象の連続で、猛暑があり、また豪雨による洪水がありと大変な年でしたが、明るいニュースとして、宇宙探査機「はやぶさ」の帰還や、鈴木さん・根岸さんのお二人がノーベル化学賞を受賞されるといっ嬉しい話題もありました。

世界的には、チリの落盤事故で33人救出のニュースや中国万博があった一方、尖閣諸島での衝突事件、北朝鮮の砲撃事件、ロシア大統領の北方領土訪問など、内外に多くの問題が噴出しました。私共としましては、閉塞感を吹き飛ばす毅然たる外交をやって頂きたいと願っています。

特に政局は混迷を極め、経済も財政も思うように伸びず停滞している現状は皆様ご存知の通りでございます。先に大衆迎合政策ありきで、国の方向性が定まっていなために多くの国民がいらだちを感じており、将来に対する不安感が漂っています。その外、円高、株安、雇用不安などで展望が開けず、我々地方の卸問屋にとりましては非常に厳しい状況

が続いております。このような環境のなか、組合員の景況調査結果を見ますと、リーマンショックから少しは立ち直れたかと思われた景況感も、前年同期と比べて余り変化しないとの回答が多数ございました。

他力依存型、神頼みでなく、各企業がそれぞれの技術力と特性を生かし、自助努力あるのみです。私共は自らを信じて、この不況感を脱却しなければなりません。そしてより元気な企業を目指して頑張っていきたいと念じております。

さて昨年、当組合の地域の活性化策に若い感性と楽しさを取り入れようと、5月に金沢美術工芸大学と「街づくりに関する協定」を結び、協力関係を築いていくこととしました。そして、その後開催した委員会に美大の教授にも参画して頂き、協議を重ね、昨年末、そのまとめの報告会も開催しております。

特に10月には、金沢美大の学生を対象に「問屋町街角アートパークコンペティション」と題して交番跡地の空間設計を募集し、最優秀賞作品をもとに今年度中にモニタメントがで上がる予定でございます。また、今年の組合運営につきましては、交番跡地の空間整備とともに組合所有の倉庫を「問屋まちスタジオ」として学生の皆さんが作品を制作するスタジオにし、作品を展示し

て一般の方にも公開するギャラリーとして運営する予定にしております。美大の皆さんとの交流によって、新しい街づくりができれば誠に幸いです。存じております。

その外に、第8期目を迎える「金沢商人塾」で若手経営者に経営力・人間力を磨いて頂く事業や、新たな事業にも取り組んでいく所存でございます。いずれの事業も組合員各位のご理解とご協力なしには成功しませんので、絶大なご協力をお願い申し上げます。

石川県をはじめ金沢市ならびに関係各機関の皆様には、当組合の更なる飛躍のために一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、組合員並びに関連企業の皆様方ますますのご健勝とご繁栄をお祈り致します。



(協)金沢問屋センター旗争奪

第3回 石川県新人学童野球選手権開催

次代を背負う青少年の「心・技・体」の育成を担う意味を込めて当組合が支援する石川県新人学童野球選手権が、昨年10月30日(土)、11月3日(水・祝)に開催されました。

10月30日に行われた開会式では、「加賀学童野球クラブ」からの優勝旗返還、県野球協会の大田重明学童部長の開会宣言に続き、当組合の富木理事長より挨拶がありました。その後、「苗代少年野球クラブ」の山根諒也主将が選手宣誓で健闘を誓いました。

準決勝・決勝は11月3日、「加賀学童野球クラブ」「根上学童野球クラブ」「芦城少年野球クラブ」「西南部サンポイズ」の顔合わせで行われ、昨年の全日本学童軟式野球大会で全国の頂点に立った「西南部サンポイズ」が連覇を狙う「加賀学童野球クラブ」を破り3代目の王者となりました。今年も組合を挙げて大会の支援を行いますので、応援をお願いいたします。

富木理事長から優勝チームの一人ひとりに「キマッシカナザワ」のマークの入った記念のメダルが授与された。



参加した158チームの頂点に立つのは？(小松ドームでの決勝戦)



平成23年の経済見通し

世界経済に歩調を合わせて国内にも景気回復の明るい兆し

金沢信用金庫問屋町支店 支店長 浦 宏一

ラスに転じました。住宅市場全体としては、盛り上がりを感じてきたものの住宅ローン金利の低下や住宅資金向け贈与の非課税枠拡大などの政策効果が下支え要因となったものです。

設備投資は4期連続のプラス、企業収益の回復を背景に、大企業、製造業を中心に上向きました。一方、公共投資は事業予算削減の影響などで、0・6%減と5四半期連続で減少しました。

為替相場においては、ドルの対円相場は10年4月5日に付けた1ドル94円台をピークにほぼ一貫してドル安が続きました。5月には欧州の財政問題への懸念からユーロ売りが加速、ユーロ安円高に連動する形でドルは90円を割り込みました。その後モドル売りの優勢の展開が続き、8月には米連邦公開市場委員会(FOMC)が追加の金融緩和策を決めたことを受けて1ドル84円台まで円高ドル安が進みました。9月に入っても円高ドル安が続いたため、政府・日銀は9月15日の東京市場で04年3月以来の円売り介入に踏み切りました。介入直後は、1ドル85円台まで押し戻されましたが、その後米国の追加金融緩和と観測から円買いドル売りの流れは止まらず、10月25日には1ドル80円台をつけました。

当面のドル相場は、上値の重い展開を予想していましたが、ただ日本経済も輸出の

減速や政策効果の低下で踊り場局面を迎えております。政府・日銀による再度の円売り介入への警戒感も残っており、再び円高が加速する可能性も小さく見ていました。米国経済の成長ペースが高まると想定している11年には、徐々にドル買戻しの動きが広がると思われます。

平成23年の見通し

11年1月から3月には世界経済の回復に歩調を合わせる形で輸出が再び増勢を取り戻し、景気は踊り場を脱すると予想します。11年度には、ペントアップデマンド(景気後退期に抑制された需要)の顕在化で、景気は国内外とも回復の勢いを取り戻すものと思われれます。特に米国経済は、金融危機で大幅に落ち込んだ住宅投資や自動車販売の反動増などで成長ペースが高まり、さらに、11年は夏季オリンピックの前年に当たり、半導体などの電子部品の引き合いやデジタル家電の在庫積み増しの可能性が高くなります。

日本の輸出への影響が大きいシリコンサイクル(半導体景気循環)は、本格的な上昇局面を迎えるとみられる円高に伴う価格競争力の低下や投資マインドの慎重化がマインスマイルではあります。11年度の日本経済は輸出と民需のバランスがとれた形で

徐々に成長ペースを高めるものと予想します。実質成長は2・5%と予想。企業収益の回復傾向も維持され設備投資は、2年連続で増加するものと思われれます。ただ急速に進行した円高がタイムラグを伴って11年度にマイナスの影響をもたらすと考えられます。輸出関連産業の中小下請企業や輸入製品と競合する国内企業の収益の伸び悩みなどで設備投資は下押しされ、実質設備投資は5%増と本格回復には至らず、11年度の水準はピークを記録した07年度の8割強の水準にとどまると予測しました。

景気回復が家計部門に波及する形で、雇用・所得環境は改善傾向を維持。一方、子ども手当の一律増額の見送りや年少扶養控除の廃止で、所得下支え効果は大幅に低下するものと思われれます。また、エコカー補助金(終了)やエコポイント(11年3月終了予定)で前倒しされた需要の反動も前年対比の伸び率を引き下げる要因となります。雇用・所得環境の改善を背景に、実質個人消費は底堅く推移し、10年度の伸びを下回るものと予想します。

物価下落の背景には大幅な需給ギャップがあり、円高も物価押し上げ要因となっており、デフレからの脱却は容易ではありません。日銀は、物価安定の展望ができるまでゼロ金利を維持すると表明していることから、利上げに転じるには少なくともコア消費者物価の前年比プラス定着が必要であり、量的緩和・超低金利からの政策転換は12年度以降にずれ込むと想定しています。

私ども金沢信用金庫は、組合並びに組合員の皆様また、地域金融機関の皆様と共に地域経済活性化のために今後も邁進していく所存であり、本年も昨年同様「指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。



新年、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新春を晴れやかに迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃のご愛顧に対し深く感謝いたします。

平成22年を振り返って

日本経済は、海外需要の拡大や各種政策効果が奏効し、世界同時不況からの回復過程を辿ってきました。景況感は堅調に回復してきましたが足元では、政策効果のはく落や米国経済の景気減速・円高進行などで回復テンポが鈍化しています。

個人消費は、エコポイント制度を背景に薄型テレビが好調だったほか、夏の猛暑効果加わりエアコンや冷蔵庫の販売も伸びました。エコカー補助金の終了とたばこの増税を前にした駆け込み需要が、8月の乗用車販売と9月のたばこ購入量を押上げました。住宅投資は前期比1・3%増とブ

卯年 男大いに語る



真の「目利き」たる 設計者を目指して



㈱五井建築設計研究所
設計室 主任
松尾 信一郎

新年明けましておめでとございます。私は今年36歳の年男です。学生時代には既にバブルが崩壊しており、その後の不景気による閉塞感が常に漂う、不景気しか知らない世代がもしもありません。しかし今年も卯年に相応しく、業務においても自分自身にとっても飛躍する一年にしたいと思えます。そうした思いの中、近年の業務と重ねて自分の考えを綴らせて頂きます。

私が勤務する㈱五井建築設計研究所は建築の設計と工事監理を主な業務としておりますが、昨年は問屋町の街づくりに関するコンサルタン卜業務に携わる機会に恵まれました。「卸問屋」の街である問屋町が40数年前にこの地に築かれ、全国の流通拠点の一つとして隆盛を極めた時代から、グローバル化による経済情勢の変動やいわゆる「中抜き」と呼ばれる流通業態の変化を経て、組合企業規模縮小、空き地・空き店舗の増加が目立つ現状と今後の北陸新幹線・金沢港再整備・外環状道路等の整備を

要因とする経済変化を踏まえ、協同組合金沢問屋センターが主体となって、問屋町の将来の発展に向けて「アート」をキーワードとした街づくりのビジョンを策定する業務です。

業務に伴い、各企業の経営者や学識経験者との議論を拝聴する中、「目利き」という概念を再認識できたのは私にとって大きな刺激でした。「卸売り」という職種は「問われたもの」を迅速かつ正確に消費者に届ける「便利屋」が原点であり、そこに「目利き」として価値を判断する「問屋」機能があるということです。社会的に「卸売り」という職種の意味が問われる中、本当の意味は「目利き」としての価値であるという御意見は、私達の職種においても然りだと感じました。

建築は施主の予算に応じ、敷地条件や法的制約を踏まえて、建物に対する要望を最大限実現する経済活動の一環ですが、周辺環境への配慮、地域文化への貢献、技術の伝承など文化的活動の側面もあります。耐震偽装問題以降、建設業界の衰退、法改正による設計活動の混乱など厳しい状況が続きますが、そうした建築文化を担う立場である以上、正しい知識と経験、高い技術力に基づく正確な情報判断「目利き」無くては、これまで以上に設計者の存在価値は揺らぐことでしょう。

節目を迎えたとは言え、まだまだ未熟な自分に活を入れ、本当の「目利き」たる設計者を目指し今後も精進していきたいと思えます。

研修会報告

営業力強化研修

厳しい競争を勝ち抜き 営業の着眼点と行動指針

「やるべきことをやらない自分を知る」
講師(株)日本ヒューマン経営研究所
代表取締役 大塚 徹氏



10月16日(土) 金沢流通会館にて開催、17社65名が参加した。現在の経済情勢の中で業績を伸ばすには、同業他社のお客様をターゲットにする必要がある。競合ユーザーの5社を確実にマークし、小さなサービス(蟻の穴)からアタックを続けていけば勝てる。また、自社の商品の中に未納品があるうちは完全な固定客とは言えないなど、事例を交えた実践的な講義があった。最後に「信頼される営業マンの条件」として ①何事にも好奇心を持ち情報提供(収集)力がある ②ライバルを含めた商品知識(専門知識)が豊富でアピール力がある ③明朗 ④お客様に役立とうとするサービス精神が旺盛 ⑤実行(行動)力がある ⑥熱意(使命感)があるなどの5項目を挙げた。

幹部社員研修会

明るい明日はみんなできつくる あなたがやらずに誰がやる!

講師 税理士法人泉が丘会計センター
代表取締役・税理士 山根 敏秀氏
11月4日(木) 金沢流通会館において開催、18社26名が参加した。
平成21年12月に中小企業金融円滑化法が

バタムンゴッセー vol.11

お地藏さん



㈱中嶋帽子
代表取締役社長
中嶋 正治

私たちはよく路傍に立っているお地藏さんを見かけます。私たちの交通安全や幸せを願っているのを感じるのは、私だけではないと思います。わが問屋センターの中央を流れる割出川の川辺の小さな祠に安置されているお地藏さんをご存知でしょうか。このお地藏さんは、今は亡きある会社の経営者が安置されたものとお聞きしています。何の目的で、その念は計り知れませんが、そのお地藏さんにお名前がなかったため、ある方のアドバイスにより福徳地藏菩薩とさせていただきます。

地藏菩薩とは、大地が全ての命を育む力を蔵するように、苦悩の人々をその無限の大慈悲の心で包み救うところから名付けられたとされていますが、現代の常識人たちが菩薩の存在についてなかなか信じる事ができないだろうと思います。しかし、仏の教えには、人間の本质は霊であり、この世で肉体に宿り、またあの世に帰っていく転生輪廻を説いています。即ちこの世はそれぞれの魂にとつての修行の場であり、菩薩もこの世での肉体に宿りながら苦難困難の中にあっても真理を求め実践し、愛(利他)のみに生き、仏の心を自らの心として生き、あの世に帰った高級霊であるといわれています。その姿をこの世に石仏として

現すことによつて、人々に正しい生き方が本当の幸せの道であると教えているのだと思います。なぜなら、その存在を本能的に信じているがゆえに人々は御前で合掌します。

福徳地藏菩薩の福徳とは、どんな意味なのかといえますと、仏法に縁起の理法(因果の理法)が説かれており、原因は必ず結果を生むということです。即ち善因善果、悪因悪果のことです。故に善心必ず善行あり、善行必ず福徳ありとあります。善行によつて得る幸福利益の意味です。

しかしこの世でまじめに人のために尽くしてはいるが、なかなか自らには幸福感がないという人も多々あるのですが、決してそうではなく、異熟といつてあの世での幸福生活が待っています。一方では悪因悪果による人は地獄の苦しみを味わうことになっています。このことはこの世ではわかりませんが、あの世に帰って初めてわかるといわれています。

問屋センターに働く人々が一人でも多く、問屋稲荷大明神や地藏菩薩に参拝をし、苦難困難の中にあるなら、その都合合掌し福徳に添っているかを反省して祈るなら、必ずインスピレーションを得て問題解決に至ります。この合理主義の社会の中にあつて、神秘主義といわれるかもしれないがこの二つが融合してこそ、これからのセンターの繁栄発展がなされていくものと思えます。

念は、良かれ悪しかれ時間差はあつても実現するといわれています。センターで働く全ての人々が明るく楽しく、未来は繁栄、発展すると思えばそうなる確信しています。

第7期「金沢商人塾」例会報告

第4回 講談師・講談協会常任理事 一龍斎 貞花氏

「上に立つ人の条件」〜戦国武将・歴史に学ぶ知恵〜

【開催】11月27日(土)



上に立つ者に欠かせないのは、志、情報、読み、部下、決断の5つだという。織田信長が今川義元を破った桶狭間の戦いは、『窮鼠猫を咬んだ』話ではないという。信長にとって桶狭間は自分の領土だったが、そこに住んでいる農民が領主が変わることを望めば、攻め込んできた者に情報を流し道案内までする時代である。数の上で圧倒的に不利だったにも関わらず農民の裏切りもなく勝利したのは、信長が良

間の戦いは、『窮鼠猫を咬んだ』話ではないという。信長にとって桶狭間は自分の領土だったが、そこに住んでいる農民が領主が変わることを望めば、攻め込んできた者に情報を流し道案内までする時代である。数の上で圧倒的に不利だったにも関わらず農民の裏切りもなく勝利したのは、信長が良

第5回 ㈱商工中金経済研究所 取締役所長

「変化はチャンス」

坂井 茂樹氏

【開催】12月25日(土)



まず日本のこの100年の歴史を見ながら、主な出来事やヒット商品、経済成長率について解説。宗教学者の山折哲雄氏の「景気循環に諸行無常を感じる」という言葉を挙げ、次の時代に求められる商品は何か商人の目で考えてほしいと提案された。その後経営トップの要諦を説明、現状に満足していると必ずマンネリに陥り、成長がストップするという信越化学工業(株)金川社長の言葉などを例に、「変化はチャンス」と考えることの重要性を説いた。ドラッカーは「人間社会で唯一確実なのは変化することである。会社が生き残るかどうかは、変化に適應できるかどうか

まず日本のこの100年の歴史を見ながら、主な出来事やヒット商品、経済成長率について解説。宗教学者の山折哲雄氏の「景気循環に諸行無常を感じる」という言葉を挙げ、次の時代に求められる商品は何か商人の目で考えてほしいと提案された。その後経営トップの要諦を説明、現状に満足していると必ずマンネリに陥り、成長がストップするという信越化学工業(株)金川社長の言葉などを例に、「変化はチャンス」と考えることの重要性を説いた。ドラッカーは「人間社会で唯一確実なのは変化することである。会社が生き残るかどうかは、変化に適應できるかどうか

今後のスケジュール

●第6回 平成23年2月26日(土)
講師「納棺夫日記」著者 青木 新門氏
『このバトンタッチ』
映画「おくりびと」について